

施策	3201 防犯・交通安全対策の充実						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有	
対象	市民						
施策が目指す姿	誰もが安全・安心に暮らせる環境を確保するため、防犯対策及び交通安全対策の推進を図る						
成果指標	防犯灯延設置数...5年間(平成25年度～平成29年度)で13,750基(現状値12,261基) 交通安全教室参加者数...5年間(平成25年度～平成29年度)で6,000人(現状値4,506人) 歩道設置道路延長...5年間(平成25年度～平成29年度)で132,251m(現状値129,306m)						
目 標 達 成 状 況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	成果指標1 [基]	予定	10,745.00	12,861.00	13,161.00	13,461.00	13,750.00
		実績	10,531.00	12,888.00	13,353.00	14,079.00	14,404.00
	成果指標2 [人]	予定	5,600.00	5,100.00	5,400.00	5,700.00	6,000.00
		実績	4,281.00	4,550.00	3,433.00	5,089.00	6,535.00
		単位コスト	111.03	80.65	70.57	54.11	38.21
	成果指標3 [m]	予定	104,070.00	129,931.00	129,931.00	131,034.00	132,251.00
		実績	104,070.00	129,931.00	129,931.00	131,034.00	131,322.70
		単位コスト	4.57	2.82	1.86	2.10	1.90
	成果指標4 [ ]	予定					
		実績					
		単位コスト					
	トータルコスト (千円)	予定	534,615	220,406	271,879	335,826	313,806
実績		475,335	366,940	242,268	275,374	249,681	
内 部 評 価	貢献度	犯罪件数・交通事故件数の減少には、防犯灯設置灯数・交通安全教室参加者数の増加や、歩行者の安全施設の整備推進が必要であるため、目標達成度による貢献度は高い。					
	達成状況	防犯灯設置灯数、交通安全教室参加者数は、目標に達した。歩道設置道路延長は、目標に達しなかった。					
	課題	防犯、交通安全への関心を高めるための周知・啓発活動を継続的に実施することが必要。また、交通安全施設整備を計画的に推進するためには、十分な財源の確保が必要。					
	取組方針	防犯灯設置は、自治会に周知し要望を取りまとめもらう。交通安全教室開催を積極的にPRするとともに、通学路交通安全プログラムにおいて順次整備推進を図る。					
外 部 評 価	<p>指標の中で、「交通安全教室参加者数」が目標を大きく上回っているようなので、評価できる。また、内容もスクエアドストレイト形式の教室を実施しているということであり、大変有効な方法であると思われるので、引き続き多くの市民に参加いただくよう努力願いたい。</p> <p>交通事故に関し、多くの報道で高齢者の事故が取り上げられているが、危険だと思われる高齢者の運転は、本市でも多く見受けられるため、事故を未然に防げるよう、免許返礼者へのインセンティブにつなげる施策を実施していただきたい。</p> <p>また、昨年度から防犯カメラの補助制度を行っているということだが、犯罪抑止といった点から効果はあると思われるので、普及に努めてほしい。</p>						
単 位 施 策 達 成 の た め の 事 務 事 業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度
	114101	交通指導員設置費				42,779	100
	114201	交通安全対策事業費(栃木)				9,431	100
	114202	交通安全対策事業費(大平)				3,843	100
	114203	交通安全対策事業費(藤岡)				3,131	100
	114204	交通安全対策事業費(都賀)				3,025	100
	114205	交通安全対策事業費(西方)				1,646	100
	114206	交通安全対策事業費(岩舟)				3,051	100
	114302	防犯事業費(大平)				1,500	100
	114303	防犯事業費(藤岡)				1,875	100
	114304	防犯事業費(都賀)				750	100



## 平成29年度 単位 施策評価表 補表

施策	3201 防犯・交通安全対策の充実		
区分	妥当性	妥当	市が、市民が安全・安心に暮らせる環境の確保を行わねばならない。
	コスト削減の余地	有	不要となった防犯灯の再利用、再生資源利用等による交通安全施設整備などに余地がある。
	受益者負担	適正	市が行うべき事業である。
	上位貢献度	有効	安全・安心な暮らしの確保のための貢献度は高い。
	類似事業の有無	無	市・警察等が連携して取り組む必要があり類似事業はない。
	成果向上の余地	有	防犯・交通安全の推進は継続して実施していく必要がある。
内部評価 【H29年度分】	貢献度	犯罪の体感不安は依然として高く、交通事故も日々発生しており、犯罪件数の減少や交通事故件数の減少に取り組む施策である防犯灯設置・交通安全教室開催や歩行者の安全施設の整備推進は、安全安心な暮らしの確保のため貢献度は高い。	
	達成状況	防犯灯の設置については自治会からの要望を踏まえ目標灯数に達した。防犯対策としては、防犯カメラを静和駅、金崎駅に設置し、警察と連携し栃木駅周辺パトロールを実施した。交通安全教室はPR効果で参加者数は増加した。交通安全県民総ぐるみ運動、死亡事故発生箇所など警察、関係団体と連携し街頭啓発を実施した。スクエアドストレイト方式の交通安全教室を実施した。歩道設置道路延長は概ね目標に達した。	
	課題	防犯・交通安全への関心を高めるための周知・啓発活動は継続的に実施しなければならない。 交通安全施設整備を計画的に進めるには十分な財源の確保が必要である。	
	取組方針	防犯灯設置は引き続き自治会に周知し要望を取りまとめてもらう。交通安全教室開催については老人クラブや幼稚園、保育園等にも周知しPRしていく。交通安全施設整備については通学路交通安全プログラムに基づき順次整備を図る。	
内部評価 【前期5年分】	貢献度	犯罪の体感不安は依然として高く、交通事故もゼロではない。犯罪件数の減少や交通事故件数の減少に取り組む施策である防犯灯設置・交通安全教室開催や歩行者の安全施設の整備推進は、安全安心な暮らしの確保のため貢献度は高い。	
	達成状況	防犯灯設置数、交通安全教室参加者数ともに目標に達した。歩道設置道路延長も概ね目標に達している。特殊詐欺電話機等購入費補助、スクエアドストレイト交通安全教室など新たな施策も開始でき、施策の目標は達成できた。	
	課題	防犯・交通安全への関心を高めるための周知・啓発活動は継続的に実施しなければならない。 交通安全施設整備を計画的に進めるには十分な財源の確保が必要である。	
	取組方針	防犯灯設置、交通安全教室開催、交通安全施設整備については継続して実施していく。	